

SA 吹田 通信 第22号

2005年3月

発行 SA 吹田 事務局 〒565-0821 吹田市山田東4-41-4-506

TEL&FAX 06-6876-1437

?? 「竹の子クラブ」の一年をふりかえる 八木 秀雄 (SA16期)

平成16年春、シルバーアドバイザー養成講座を修了と同時に、同期24名が「サポート吹田16」を立ち上げ、私は世代間企画担当として早速近隣の施設、公民館や児童センターに打診しましたが、世の中そう甘いものではありませんでした。そんな中で、同年輩の仲間が、小学生のサークル活動を指導してくれる人を探している地域の小学校があるよ、という情報をくれました。それが、山田第三小学校の土曜講座「竹の子クラブ」との出会いでした。4月下旬、サプリーダーの中内さんと一緒に会議に出席し、5月第3土曜日からスタートすることになりました。事前に申し込んだ児童16名(1年4名、2年5名、3年4名、4年-2名、5年1名)が参加してくれました。全校生徒数は727名、内サークルの希望生徒は96名、なおサークルは13の部があり、屋外ではドッジボールが23名と多く、屋内ではおもちゃ作りと手編みが16名で、次がお茶、折り紙と続きます。第一回目は出席名簿で点呼をし、カードにりんごシールを貼り、席は学年やクラスに関係なく、仲良くすることに心がけました。

サポート吹田16の会長安藤さんの挨拶に始まり、マジックを披露。野原さん、中内さん、菰池さんが熱演、子どもたちも好奇心でいっぱいでした。次はおもちゃ作りで、作品のアドバイスをしてくれる大野さんが加わり「はねがえる」と「ストロートンボ」を作りました。約2時間、作った作品を飛ばして遊びました。元気に遊ぶ姿を見て、リーダーとして体調に気をつけ、一年間自分だけは休まないようにと誓いながら、同時に子どもたちから元気をいっぱいいただきました。最後はストローの吹き矢をおみやげに、次回6月の連絡書を渡し、親に見せるよう念を押してみんな元気に帰って行きました。このようにして一年間、サポート吹田16の皆さんが交代で参加し、中家さん、櫻原さん、森山さんも加わり、1年間で11回延べ61名(1回平均5.5名)サポートの方々が参加しました。作品も18点になりました。

初めの頃は2点を作ることで進めましたが、途中から相談の結果1点にしぶり、できるだけ児童に、初めから作ってもらう方法をとりました。早くできる子は、どんどん進めていきますが、遅い子は常時4~5名がついて指導しておりました。ていねいに図柄を書く子、適当に済ます子、ある日ロボットを作ったとき、みんなの作品の目を見ると、大きな丸い目、可愛い小さい目、また横に線のように書いた目等個性が良く出ていました。また道具を使うとき取り合いになり、身体の高い子に譲るように言うと、逆にその子が低学年だった事もありました。最近ではニュースで、児童の身近で事件が頻発しているため、必ず出席を確認し、事前に欠席の連絡があった人や友達に言づけがあれば安心ですが、連絡がなく欠席した時は心配でした。そのような時は、家族に連絡を取ったこともありました。今年になって1年生の子が1名保護者が心配され参加を辞退されたことがあり、一時期対応に悩みました。非常階段に近い空き教室を選んでおりますが、冷暖房設備はなく、1月の寒いときは、元気に来てくれるか心配でしたが、全員が出席してくれたときは、嬉しくて思わず目頭が熱くなりました。いよいよ4月2日(第一土曜日)が16年度の最終回になります。この日は修了証書と副賞があり、「びっくり箱」を

作った後は、今までの作品やマジック、紙芝居、読み聞かせ等の思い出を話しながら、進級してもまた来てくださいというつもりです。こちらも一年生でしたが、なんとか進級できそうです。そして子ども達からは年会費500円をいただいておりますが、初年度でもあり、年末には底をつき、サポート吹田16の皆様の作品指導や材料費等の援助を受けました。深く感謝しております。5月からまた新たな子どもを迎え、サポート吹田16も2年生として、共に助け合い、児童に喜んでもらえる作品を勉強し、努力していきたいと思っております。今後とも皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

??? 第5回「いのっこ祭り」に参加???

その 歌体操

佐藤 百合子 (SA10期)



3月20日(日)のいのっこ祭りに、私たち「みのりの会」は、今年も歌体操で参加しました。平素は歌体操をされる方は高齢の方々ですが、「いのっこ祭り」では、子ども連れの若いお母さんたちが見えたりして、親子で楽しんでくださいます。しかし、今年は連休で出かけている方が多いのか、例年になくひっそりした「いのっこ祭り」になってしまいました。ともあれ、今年も歌体操には、さまざまな年齢の方々が参加され、大きな声で歌い、しっかり手足をのば

して体操をしていただきました。

その おもちゃ作り

増山 彦一 (SA13期)

3月19日(土)・20日(日)の2日間、SA吹田から延べ15名の会員がおもちゃ作りで参加しました。第一日目の3月19日は穏やかな天気にも恵まれ、開始時刻の午後1時には、待ちこがれた大勢の子どもたちでいっぱいになったので、少し時間を早めて始めました。当日は7名の会員が参加して、ユーホー、カップごま、手まりごまなどを作りました。それぞれのコーナーは、始めから終わりまで順番待ちの行列ができて、息つく暇がありませんでした。

終わってみると、それぞれ150個ばかり用意していた材料は、すっかり無くなっていました。第2日目の3月20日は、朝から雲り空で肌寒い天候でしたが、会場の準備をする前から子ども達が集まってきたので、この日も時刻を少し早めて開始しました。8名の会員が参加して、紙ヒコーキ、折り紙風車、クリオネ、ストロークライダーなどを作りました。どのおもちゃにも興味を示し、SAの皆さんに教わりながら熱心に作っていました。午後2時頃から風も強く吹いてきて寒くなり、子どもたちも殆んど集まらなくなったので、少し早めに終わりました。それでも、終わってみればそれぞれ材料は100個余り出ていました。「いのっこ祭り」も回を重ねるごとに市民に定着してきましたが、3月はまだ寒気の襲来する日もあり、屋外では寒さ対策が必要と思われる。主催者へ提出する「意見、感想」の中に、開催時期を5～6月頃にしてほしいと意見を述べておきました。当日ご参加いただきました皆様、本当にご苦労さ

までございました。

？ 第3回「懐かしい歌声の集い」を終えて？ 西森 健生(SA15期)

ドリームネット主催による第3回「懐かしい歌声の集い」が、3月14日(月)南千里市民センターで開催されました。この集いは、手探りで始めて3回目。回を重ねる毎に参加者が増えてきましたが、同時に色々なハプニングもありました。この日も、コーヒーマーカー4台を一度に立ち上げたため、会場の電気を消す等という失敗をしましたが、点灯したときは皆様の拍手がいただけるという、本当にうれしい会に育ちました。お葉書で申し込まれた方、約250名、当日会場には211名の方に入っていました。歌の本を入り口で受け取らずに入られた方も多かったようで、あわてて受付に取りに来られました。このような混乱も私たちにとっては勉強になり、次回は改善して臨みたいと思っています。この企画については吹田市報、千里タイムズ、老人総合センターで知ったという順にアンケートでお答えいただいています。

参加者の年齢は、全体では66歳です。女性の平均年齢は65歳で、男性は70歳です。アンケートにお答えいただいたコメントを見ても、「まだまだ、寝たきり老人にはならないぞ!!」の意気込みが伝わってきます。京都のお坊さんが茶道の雑誌で、「自他不二の心で自立を」と述べておられます。次回も皆様に喜んでいただき、私たちが元気をいただいて帰れる会にしたいと望んでいます。次回は6月13日(月)を予定しています。詳しくはすいた市報に発表いたします。

日本の城址探索

奥谷 博(SA15期)

春とはいえ寒暖の差激しく、私自身も疲れていたもので、少し時間の余裕が出来たのを幸いに、ぶらりと南紀白浜へ行って来た。往復高速バス利用のぶらり旅である。楽しみは当然三大名湯の一つ白浜温泉に入ることと、地方紙や全国紙の地方版によく出ているその地方の歴史的史跡、永い歴史を刻む建造物保存地域等の由緒ある建物や寺院・神社の紹介記事を読むのも楽しみのひとつとしている。たまたま全国紙の地方版に、紀伊田辺から御坊にかけての山岳地帯、日高川の上流に大規模な山城があり、今そのお城を地元の人々で維持管理をしている記事が出ていた。JR和佐駅から北東に約1.5Kmの地点。地名は川辺町和佐で、通称、城山(標高171m)で正式名は、「手取城」である。南北朝時代から、日高地方の城主・玉置氏の居城の跡であるようだ。1585年(天正13年)秀吉の紀州攻めの際、城主玉置直和は秀吉に味方し、義父湯河直春と戦って敗れるが、手取城に立てこもり、攻勢によく耐えたと云われる城で、城域は東西500m、南北250m。和歌山県には600もの中世の城郭があり、その内で最大規模であったようだ。敵の侵入が予想される尾根に何重もの連続堀切や畝状竪堀、谷からの敵に備えた横堀(武者落とし)など、紀州で発達した築城技法のすべてを導入、「山城の歴史の中で戦国時代の城郭の典型、集大成を示す城郭」と最大級に評価されている。尚、落城した玉置直和がその後高野山で出家し、茶の湯の瑞穂流を起こし、神戸垂水で現在まで粛々と承継されているようだ。わが吹田市にも山城と言われる山田城や、旧吹田に属す片山神社や高浜神社の辺りにも吹田城が在ったと云われている。数々の文献から大小含め10ヶ所ほど存在したようだ。荒木村重の叔父が吹田城の主であったことから存在は間違いない。しかし長い年月で残念ながらどの場所であったかは全く不明になった事である。レジャー白書によると、ゴルフ等のスポーツを初めカラオケ等娯楽・趣味の伸びは軒並みダウンしている。だが新たな余暇活動

として登場してきた温浴施設、マッサージ・エステティック、専門家の同行するテーマのある旅行等と同様に古城・神社・仏閣巡りの伸び率は、市場規模金額に占める割合の高さのみならず今後は更に大きくなると云うデータが出ている。今年は皆様と共に、吹田城の探索に挑戦しようではありませんか。(レジャー白書2002年、朝日新聞参照)

平成17年度SA吹田会費納入のお願い

平成17年度SA吹田の会費を納入くださいますようお願いいたします。

振込先口座番号 0960-0-178393 加入者名 SA吹田
年会費 1,000円 所定の振込用紙を会報と一緒に配布しています。郵便番号、ご住所、お名前、電話番号をご記入の上お近くの郵便局からお振込みください。(恐れ入りますが振込料はご負担願います)

SA吹田 活動予定表(4月~5月)

- 4月7日(木)やさしい日本語 北千里公民館 10時30分~12時
- 4月9日(土)SA吹田役員会 北千里公民館 13時30分
- 4月9日(土)おもちゃ作り 市民塾 北千里公民館 10時~12時
- 4月21日(木)やさしい日本語 北千里公民館 10時30分~12時
- 4月25日(月)SA吹田総会 北千里公民館 13時30分
- 5月5日(木)こどもカーニバル 北公園 10時~15時
- 5月8日(日)垂水会館40周年記念祭 おもちゃ作り 12時~14時(集合11時半)
- 5月14日(土)・15日(日)国際交流プラザ メイシアター 10時~16時
- 5月22日(日)第7回吹田ボランティアフェスティバル
- 5月29日(日)ミニ文化交歓会 亥の子谷コミュニティセンター 12時~16時

SA吹田 平成17年度総会

日	時	平成17年4月25日(月)午後1時30分~3時30分
場	所	北千里公民館 2階大会議室
議	題	1. 平成16年度事業報告及び決算報告 2. 平成17年度事業計画及び予算 3. 平成17年度役員選出 4. その他

なお、総会終了後講演会を予定しています。

【編集後記】「自然の叡智」をテーマに6ヶ月にわたる「愛・地球博」が開幕されました。35年前に開催された「大阪万博」が思い出されます。今では公園内の木々も大きく育ち、桜並木も桜の名所になっています。17期のSA講座も修了して、各地区に新しいメンバーが加わり、なお一層地域活動が活発になるものと期待しています。SA連絡協議会ホームページ <http://sa-renkyo.hp.infoseek.co.jp/>